里山水辺の昆虫、動物、野鳥 ＜鹿島台中核ため池周辺の生き物＞

〇久保田龍二・高橋忠（シナイモツゴ郷の会）

宮城県鹿島台地区では、1993 年にシナイモツゴが 60 年ぶりに再発見されました。周辺ため池には旧品井沼にかつて生息していたであろうシナイモツゴやゼニタナゴなど希少な淡水魚が現在でも生息しています。シナイモツゴ郷の会では、これら希少な淡水魚の保護活動等を行っているのはご承知のとおりかと思います。

これまで生息する魚類や貝類及び甲殻類などは当会により調査がなされていますが、その他の生き物については記録や写真が少なかったので、平成 28 年度に実施した高橋忠会員による鳥類調査と保護活動時に久保田が確認した鳥類、両生類、爬虫類、哺乳類、昆虫類、その他生物をここにまとめした。なお、鳥類以外の生物については、活動の合い間に確認されたものだけであることを付け加えておきます。

各動物の確認状況は、鳥類は 13 目 28 科 59 種が確認され、夏鳥ではホトトギス、ツバメ、ヤブサメ、キビタキの 4 種、冬鳥はマガモ、コガモ、キンクロハジロ、スズガモなどのカモ類、ツグミ、ジョウビタキ、マヒワ、ベニマアシコ、シメ、カシラダカなど 14 種であり、その他 41 種は通年で生息している留鳥であり、キジバト、コゲラ、アカゲラ、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、スズメ、ホオジロなど里山周辺に一般的に生息する鳥が多く確認された他、アオサギ、ダイサギ、カワセミなどの水辺の鳥、またノスリ、ハイタカ、ハヤブサなどの猛禽類なども確認されました。

両生類は 2 目 3 科 5 種で確認種は、クロサンショウウオ、ニホンアマガエル、ニホンアカガエル、ウシガエル、トウキョウダルマガエル、爬虫類は 1 目 2 科 3 種で確認種はニホンカナヘビ、シマヘビ、ヤマカガシ、哺乳類は 4 目 5 科 5 種で確認種はアズマモグラ（塚・坑道）、ニホンリス（食痕）、タヌキ（足跡）、ニホンアナグマ（堀返し）、カモシカ（目撃）などが確認されました。

昆虫類は 9 目 34 科 68 種で確認種は、池の水辺ではモノサシトンボ、ギンヤンマ、アキアカネなどのトンボ類、堰堤の草地ではベニシジミ、ウラギンヒョウモン、カラスアゲハ、ジャノメチョウなどのチョウ類、オンブバッタ、ヤブキリなどのバッタ類、周辺樹林地ではカブトムシ、ノコギリクワガタ、ミヤマカミキリなどのコウチュウ類、キイロスズメバチなどのハチ類が確認されました。

カモシカ

ダイサギ

樹液に集まる昆虫

ニホンアカガエル

オオヤマトンボ

カラスアゲハ

鹿島台中核ため池周辺の動物確認種リスト(H28 年度)

【鳥類】

No.	目名	科名	種名	渡り区分	K	I	周辺
1	キジ目	キジ科	コジュケイ	留鳥	○		
2			キジ	留鳥	○	○	
3	カモ目	カモ科	マガン	冬鳥			○
4			オオハクチョウ	冬鳥	○		○
5			ヒドリガモ	冬鳥		○	
6			マガモ	冬鳥		○	
7			カルガモ	留鳥		○	
8			コガモ	冬鳥	○	○	
9			ホシハジロ	冬鳥		○	
10			キンクロハジロ	冬鳥	○	○	
11			スズガモ	冬鳥	○		
12	カイツブリ目	カイツブリ科	カイツブリ	留鳥	○	○	
13	ハト目	ハト科	キジバト	留鳥	○	○	
14	カツオドリ目	ウ科	カワウ	留鳥	○		
15	ペリカン目	サギ科	アオサギ	留鳥	○	○	
16			ダイサギ	留鳥	○	○	
17	ツル目	クイナ科	バン	留鳥		○	
18			オオバン	留鳥		○	
19	カッコウ目	カッコウ科	ホトトギス	夏鳥	○		
20	タカ目	ミサゴ科	ミサゴ	留鳥	○		
21		タカ科	トビ	留鳥	○	○	
22			ハイタカ	留鳥			○
23			ノスリ	留鳥	○	○	
24	ブッポウソウ目	カワセミ科	カワセミ	留鳥	○	○	
25	キツツキ目	キツツキ科	コゲラ	留鳥	○	○	
26			アカゲラ	留鳥	○	○	
27			アオゲラ	留鳥	○		
28	ハヤブサ目	ハヤブサ科	チョウゲンボウ	留鳥	○		
29			ハヤブサ	留鳥	○		
30	スズメ目	モズ科	モズ	留鳥	○	○	
31		カラス科	カケス	留鳥	○	○	
32			ハシボソガラス	留鳥	○	○	
33			ハシブトガラス	留鳥	○	○	
34		キクイタダキ科	キクイタダキ	留鳥	○	○	
35		シジュウカラ科	コガラ	留鳥	○	○	
36			ヤマガラ	留鳥	○		
37			ヒガラ	留鳥	○	○	
38			シジュウカラ	留鳥	○	○	
39		ツバメ科	ツバメ	夏鳥	○	○	
40		ヒヨドリ科	ヒヨドリ	留鳥	○	○	
41		ウグイス科	ウグイス	留鳥	○	○	
42			ヤブサメ	夏鳥	○		
43		エナガ科	エナガ	留鳥	○	○	
44		メジロ科	メジロ	留鳥	○	○	
45		ムクドリ科	ムクドリ	留鳥	○	○	
46		ヒタキ科	ツグミ	冬鳥	○	○	
47			ジョウビタキ	冬鳥	○	○	
48			キビタキ	夏鳥	○		
49		スズメ科	スズメ	留鳥	○	○	
50		セキレイ科	キセキレイ	留鳥		○	
51			ハクセキレイ	留鳥	○	○	
52			セグロセキレイ	留鳥	○	○	
53		アトリ科	カワラヒワ	留鳥	○	○	
54			マヒワ	冬鳥		○	
55			ベニマシコ	冬鳥	○	○	
56			シメ	冬鳥	○		
57		ホオジロ科	ホオジロ	留鳥	○	○	
58			カシラダカ	冬鳥	○	○	
59			アオジ	留鳥	○		
	13目	28科	59種	—	49種	43種	3種

【両生類】

No.	目名	科名	種名
1	有尾目	サンショウウオ科	クロサンショウウオ
2	無尾目	アマガエル科	ニホンアマガエル
3		アカガエル科	ニホンアカガエル
4			ウシガエル
5			トウキョウダルマガエル
	2目	3科	5種

【爬虫類】

No.	目名	科名	種名
1	有鱗目	カナヘビ科	ニホンカナヘビ
2		ナミヘビ科	シマヘビ
3			ヤマカガシ
	1目	2科	3種

【哺乳類】

No.	目名	科名	種名
1	モグラ目	モグラ科	アズマモグラ
2	ネズミ目	リス科	ニホンリス
3	ネコ目	イヌ科	タヌキ
4		イタチ科	ニホンアナグマ
5	ウシ目	ウシ科	カモシカ
	4目	5科	5種

【昆虫類】

No.	目名	科名	種名
1	トンボ目	アオイトトンボ科	ホソミオツネントンボ
2			オオアオイトトンボ
3		イトトンボ科	アジアイトトンボ？
4			オオイトトンボ
5		モノサシトンボ科	モノサシトンボ
6		ヤンマ科	ギンヤンマ
7		サナエトンボ科	ヤマサナエ
8			コサナエ
9		オニヤンマ科	オニヤンマ
10		エゾトンボ科	オオヤマトンボ
11		トンボ科	コフキトンボ
12			オオシオカラトンボ
13			コシアキトンボ
14			ナツアカネ
15			アキアカネ
16			ノシメトンボ
17	バッタ目	キリギリス科	オナガササキリ
18			ヒメギス
19		マツムシ科	ヤブキリ
20		イナゴ科	コバネイナゴ
21			イナゴ科(Oxya属)
22		オンブバッタ科	オンブバッタ
23	カメムシ目	セミ科	アブラゼミ
24			ヒグラシ
25		アメンボ科	アメンボ
26		ミズムシ科	コミズムシ
27			ミヤケミズムシ
28	シリアゲムシ目	シリアゲムシ科	シリアゲムシ科
29	トビケラ目	ホソバトビケラ科	ホソバトビケラ
30	チョウ目	セセリチョウ科	イチモンジセセリ
31		シジミチョウ科	ルリシジミ
32			ツバメシジミ
33			ウラナミアカシジミ
34			ベニシジミ
35		タテハチョウ科	スミナガシ本土亜種
36			ウラギンヒョウモン
37		アゲハチョウ科	カラスアゲハ本土亜種
38			オナガアゲハ
39		ジャノメチョウ科	クロヒカゲ本土亜種
40			ジャノメチョウ
41			ヤマキマダラヒカゲ本土亜種
42			オオヒカゲ
43			ヒメウラナミジャノメ
44	ハエ目	ムシヒキアブ科	アオメアブ
45			シオヤアブ
46		ツリアブ科	ビロウドツリアブ
47		ハナアブ科	オオハナアブ
48			オオフタホシヒラタアブ
49	コウチュウ目	ハネカクシ科	コガシラハネカクシsp.
50		クワガタムシ科	コクワガタ
51			ミヤマクワガタ
52			ノコギリクワガタ
53		コガネムシ科	オオスジコガネ
54			ヒメコガネ
55			マメコガネ
56			シロテンハナムグリ
57			カナブン
58			カブトムシ
59		ゴミムシダマシ科	キマワリ
60		カミキリムシ科	ミヤマカミキリ
61			アカハナカミキリ
62		オサゾウムシ科	オオゾウムシ
63	ハチ目	アリ科	ムネアカオオアリ
64		スズメバチ科	キイロスズメバチ
65		ミツバチ科	ヒメマルハナバチ
66			トラマルハナバチ本土亜種
67			シロスジヒゲナガハナバチ
68			キムネクマバチ
	9目	34科	68種

コシアキトンボ

コフキトンボ♀

モノサシトンボ

オオアオイトトンボ